

1 開催日時

令和4年7月12日（火） 19時00分～20時38分

2 開催場所

東住吉区民ホール

3 出席者

（出席委員）

沼田壮人議長、柴田精一副議長、市川利通委員、井本啓二委員、柿本直也委員、堺 政昭委員
竹村匡己委員、中西裕希恵委員、林 弘子委員、藤村浩人委員、堀江 淳委員、松岡君恵委員
三原順一委員、山村知生委員

（市会議員）

辻 義隆議員、田辺信広議員

（東住吉区役所）

塩屋区長、中原副区长、杉本総務課長、今西事業企画担当課長、松岡総合調整担当課長
西川区民企画課長、伊藤次世代育成担当課長、森本保健福祉課長、奥田子育て支援担当課長
中尾保健主幹、松木保護課長、秋山生活支援担当課長

4 議題

- 1 令和4年度の区政会議の進め方について
- 2 令和3年度運営方針の振り返りについて
- 3 令和4年度運営方針の概要について
- 4 その他

○松岡総合調整担当課長

定刻になりましたので、始めさせていただきます。

改めまして、皆様こんばんは。本日は、お忙しいところ、またお足元の悪い中、東住吉区区政会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

ただいまより、令和4年度第1回の東住吉区区政会議を始めさせていただきます。私は本日、司会を務めさせていただきます、総務課の総合調整担当課長の松岡でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

この区政会議につきましては、区政会議の運営の基本となる事項に関する条例に基づく会議となっております。条例の規定によりまして委員の定数の2分の1以上のご出席がなければ成立しないということになってございます。本日は委員の定数が18名であるところ、14名の委員の方にご出席を賜っております。本会は有効に成立していることをご報告いたします。また、本会議は公開といたしまして、後日、議事録を公開するための録音をいたしますので、ご発言の際は必ずマイクをご使用願います。発言される際は、手を挙げていただきまして、議長からご指名がありましたら、最初にお名前を言っていただきまして、ご意見を述べていただくようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の対策といたしまして、マスクの着用と、足指の消毒などをお願いしてございます。出入り口、このように少しだけではございますが、換気のために開けさせていただきます。また、マイクの受け渡しの際は、職員がその都度消毒いたしますので、マスクの着用とともにご協力をお願い申し上げます。

続きまして、本日ご出席をいただいております市会議員の皆様方をご紹介させていただきます。向かって、演壇の方から辻議員でいらっしゃいます。

○辻議員

辻でございます、よろしくお願いいたします。

○松岡総合調整担当課長

続きまして、田辺議員でございます。

○田辺議員

田辺でございます。よろしくお願いいたします。

○松岡総合調整担当課長

どうもありがとうございました。

本日の会議用の資料につきましては、また報告の都度確認をさせていただきますので、資料のない場合は事務局までお知らせをお願いいたします。また、先に送付いたしました資料のほかに本日、令和4年度東住吉区区政会議スケジュール案と令和3年度東住吉区区政会議委員評価シートについてという資料、2種類を机上にご用意させていただいております。

本日は全体会として議題を一括してご説明させていただいた後に、一旦、全体会を中断いたしまして、各部会で意見交換をお願いしたいと存じます。約30分程度にはなりますが、各部会の内容を議論、議題として意見交換をしていただき、そこで出た意見を持ち寄っていただいて、全体会を再開してまいりたいと考えております。

本日の会議時間は1時間30分を予定してございます。ですので、午後8時30分の終了を予定しております。

時間内で活発な意見交換が行われ、会議を効率よく進めることができますよう、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

それでは会議に先立ちまして、東住吉区長、塩屋よりご挨拶を申し上げます。

○塩屋区長

皆様こんばんは。塩屋でございます。

今日は、公私ともにご多用のところ、時間を割いていただきまして、本年度の第1回目の区政会議にご出席いただきまして、本当にありがとうございます。

数年前であれば、ちょうど梅雨が明けたところかもしれませんが、今年は随分前に明けまして、大変厳しい暑さが続いている中で、ご出席いただきました。

また、今日はちょっと非常に天候が不安定な状況になっておりますので、お帰りのときの天候、非常に不安でございますけれども、そういった中でご出席いただいたこと、心から感謝を申し上げます。

また、皆様方お聞き及びのとおり、コロナ感染症が、また、随分急激に増えてまいりまして、昨日、大阪府の対策本部会議が開かれておりますけれども、知事のほうの認識としては第7波という認識だという

ようなことが表明されておりました。

そこで改めて感染拡大防止についての要請が府民全体に対してされたところでございます。本日も府全体で 9,960 名、そして大阪市で 3,380 名の新規発生がしているということでございます。前の週の倍でずっと続いているという状況でございまして気をつけていかなければならないなと思っているところでございます。

私の方には、教育委員会事務局の方から区内の公立の小学校中学校の児童生徒のみなさん方の新規発生の状況も報告を受けているのですが、特にここ数日は大変多く心配されるところです。

また、学校それから幼稚園保育所におきましては、熱中症にも注意をしないといけない。熱中症対策を講じながら、またコロナ感染拡大を防止していくということで、大変ご苦労いただきながら先生方にはご対応いただいていると思っております。なかなかワクチン接種もそういった幼少の方々には、ごさいませんし、マスクもなかなか全部強制的には、できるわけじゃないという中で、大変厳しい中でご対応いただいている状況が続いています。

今回、府の方からは飲食店の時間短縮だとか、そういった要請は出ていないようでございますけれども、やはりリスクの高い方々に対注意していきましよう。また高齢者施設などについては厳に、感染対策を講じていきましようといったことが打ち出されておまして、ぜひ我々としても区民の皆様方にも、基本的な感染対策を講じていくことだとか、またワクチン接種をどんどん進めていくといったことなどを呼びかけていくことを通じまして何とか抑制していきたいなと思っているところでございます。

それから、この週末、参議院の通常選挙がございました。地域の皆様方のご支援の下、無事にこの東住吉区の選挙区においても遂行できたという状況でございました。職員のほうも一所懸命頑張りまして、早い人は朝 5 時半ぐらいから夜の午前 2 時半ぐらいまで、勤務いたしました。1 日空けておりますので、本日はさわやかな気分で区政会議に臨めるということで、大変私もほっとしているところでございます。

今日は、令和 3 年度の振り返り、そしてまた令和 4 年度。もう既に第 1 四半期終わって、第 2 四半期に入っておりますけれども、こういった概要で進めておりますといったことを、改めてご認識いただいた上で、各部会に分かれていただいて、忌憚なくさまざまな意見交換、あるいはご意見を頂戴できればなと思っている次第でございます。貴重な時間でございます。ぜひ有意義な会議になりますよう、皆様方のご協力をお願い申し上げまして、会議の冒頭のご挨拶をさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

○松岡総合調整担当課長

ありがとうございました。

それでは議事に入りますので、これより議事進行を沼田議長にお願いしたいと思います。議長よろしくお願いたします。

○沼田議長

皆様こんばんは。議長として進行役を務めさせていただきます沼田でございます。

皆様のご協力の下、活発な意見交換をいただきながら、会議を円滑に進めてまいりたいというふうに思いますので、よろしくお願いたします。

前半は、事務局からの資料の説明が続きますけれども、このあと部会に分かれるというお話でございますので、その際にぜひとも活発な議論をいただけたらなというふうに思います。

それでは、議題に入ります。議題 1 の「令和 4 年度の区政会議の進め方」について、ご説明を事務局からお願いいたします。

○松岡総合調整担当課長

はい、議題1につきましては、私から説明をさせていただきます。座って説明をいたします。よろしくお願いいたします。

資料1をご覧ください。パワーポイントの資料でございます。皆様、この資料をご覧いただいたことがおありかと思いますが、かいつまんでご説明をさせていただきたいと思っております。改めて、ご確認をお願いいたします。

区政会議の基礎知識ということで区政会議の位置づけ等々の内容でございます。まず1ページ目でございますが、区政会議とはということで、区長が区の施策・事業について、その計画段階から幅広い区民の方々の意見をお聴きし、適宜区政に反映させるための会議でございます。この区政会議は下にご覧のとおり、区政会議の運営の基本となる事項に関する条例に基づいて開催されるものでございます。

次のページをめくっていただきまして、ご確認をいただきたいのが、2ページ目の上半分でございます。次のような事項について、ご意見をお伺いしたいということでございます。まずは、区の運営方針の策定についてでございます。そして、併せて区の予算、運営方針とセットの予算でございます。事業計画でございます。3番目につきましては、区の運営方針の評価。4番目が区の総合的な計画でございます。それに加えまして、適宜その他区長が必要と認める事項についてもご意見をお伺いいたします。こういった内容をお伺いする会議でございます。

次のその下の部分と隣のページにつきましては、また別の機会にご確認いただいたら結構かと存じます。

最後でございます。4ページ目の最後のところをご覧いただきたいと思っております。この会議につきましては原則、公開でございます。ですので、どなた様でも傍聴することができます。取材も入ることがございます。ですので、前回、昨年度の最後の区政会議の際に堀江委員の方からご質問をいただきましたSNSの発信についてはいかがですかというご意見をいただいているのですが、会議のこの開始前ですとか、開始後の撮影でありますとか、そういったことの発信でありますとかにつきましては、議事に何ら差し支えございませんので、ご自由にお伺いしたいと思っております。

資料1の説明は簡単ではございますが、以上でございます。

○沼田議長

はい、ありがとうございました。

では、続きまして、議題2の「令和3年度運営方針の振り返り」と、議題3の「令和4年度運営方針の概要」について、続けてご説明をお願いいたします。

○今西事業企画担当課長

事業企画担当課長の今西です。よろしくお願いいたします。座って説明させていただきます。

まず、令和3年度、昨年度の運営方針の自己評価ということで、資料は2-1と2-2を使わせていただきます。

前回の区政会議のときに運営方針そのものについての案は、ご説明させていただいております。前回は令和4年度の案を説明させていただいたのですが、その令和4年度と令和3年度、大きなフレームは一緒ですので、個別の説明は省略させていただきます。

まず2-1です。この横のA3横の方を見てください。こちらが昨年度の自己評価となっております。4つの経営課題のうち、経営課題2と3と4につきましては当初予定していたとおりの進捗ができなかったということで、色を塗ってるところがそこに当たります。

まず、経営課題2-1の健康づくりです。2-1-1のところですが、真ん中のところにプロセス指標とありますが、昨年度の目標としまして、特定健康診査の受診率が前年度を上回るというものであったりとか、はつらつ脳活性化元気アップリーダーの講座の開催回数が年 250 回以上という目標を立てていたのですが、そのすぐ横のプロセスの進捗状況、達成状況を見ていただくとおり、それぞれとも未達成ということになっております。原因としましては、やはりコロナウイルスの感染症の関係で検診が予定通り開催できなかったこととありますとか、下の元気はつらつ脳活性化の講座のほうも、各地域のほうで開催ができなかったということが原因になっております。

続きまして、2-2-1のところ、防災力の強化のところですが、未達成となっておりますが、項目が目標は3つありまして、3つのうちの一番上です。災害に対して備えをしている区民 80%以上というところが、区民アンケートの結果 77.9%ということで未達成となっております。こちらの原因もコロナウイルスの感染症の関係で当初予定していた防災イベント等での啓発が進まなかったということもあるのかなというのが各担当からの分析となっております。

続きまして、経営課題3のところ、4つほど下のところの3-2-1。地域の自主的なまちづくり活動への支援。こちらの方が目標としてはニーズに即した支援が実施されていると感じる地活協の構成団体 80%以上というところが 70.5%となっております。こちらですが、元々、当区に関しましては各 14 地活協全てに対して支援が、入ってるわけではなくて、求めてこられる地活協に対しての支援を行っていますので、ここはちょっと統計の取り方の問題もあるのですが、4 地活協の方からは支援をされているという評価は得ているのですが、他の地活協の方からの評価がなかったりとか低かったというのが、この結果になっているというふうに聞いております。

次に、経営課題4のところの一番上、4-1-1。区役所の広報媒体と内容の充実という項目ですが、こちらは目標が区役所の情報が伝わりやすくなったと感じる区民 60%以上というところが 46.5%となっております。

同じく3つ下の区政会議の関係のところ、区民等の参画と協働のところの4-2-2。こちらが目標、区政会議を知っている区民 30%以上というところが、29.3%となっております、こちらは2つともですが、ちょっと歴年、目標と掲げている数値に届いてないという状況でございます。対策としましては、広報誌やホームページなどの区の SNS を連携させるとかで、やはりあらゆる年代に対しての情報発信を行っていく必要があるということであると考えております。

区政会議につきましては、昨年度、一昨年とコロナの関係で開催ができなかったりとか、部会が開かれてなかったりということもありまして、その発信も含めて不十分だったというところもありまして。こちら今年度以降、新たな手段等も考えながら、区民への周知を図っていきたいと考えております。

それを踏まえまして、資料2-2のカラーの冊子の1枚めくっていただいた一番下のところに自己評価という欄等があります。簡単に説明しますと、1年間の取り組み成果と今後取り組みたいことにつきましては、それぞれ将来ビジョンであったりとか、まちづくりビジョンで掲げた目標に達するよう取り組みを進めましたが、コロナウイルス感染症の関係もありましたので、感染拡大防止に努めながら、しっかりと予防対策を行いつつ事業を開催した一方で、当初目標が達成できなかった取り組みもありましたので、引き続き感染防止対策を講じつつ、事業を実施することで関係機関等への支援を行っていくということにしております。

解決すべき課題と今後の改善方法。1 段目の方は、先ほどから何遍も言っておりますようにコロナウイルスの関係ですので、地域事業ができなかったりとか、ひきこられる方も多いたということがありますので、コロナとうまく付き合いながら各種事業を実施していきたいと考えております。

2 段目の方が、特に広報に当たるのですが、区民が求める情報が年代とかライフステージでかなり異なっておりますので、情報の収集方法もさまざまになっております。まずは引き続き、広報誌やホームペ

ージ、SNSを連携させて幅広い情報の発信を行いながら、年代の高い方に関しましては、広報誌というのが役所の事業を知る一番大きな手段になっているというのがありますので、より親しみやすい魅力的な紙面づくりも継続して取り組みながら、区の魅力を発信していくことが必要だと認識しております。まずは令和3年度の自己評価になります。

続きまして、令和4年度の運営方針ですが、これも前回のときに案という形で、ご説明させてもらったものが、議会の承認も経まして、4月1日付で成案となっておりますので、それをつけさせていただいております。

変更点としますと、全て説明すると細かくなりますので、今回少し省略させていただきますが、基本的には案から成案になった時点で文章を微妙に変えてるところ、例えば表現ですね。統計上数値が入ってなかった部分が今回入りましたので、それに合わせて修正している部分であったりとか、あと各予算案の部分が予算になったりなどで、変えております。前回も説明していますので省略させていただきますが、また見ていただければと思います。全体像につきましては、資料3-1、このカラーの横のA3の分、A4の分、これを見てもらったらと思います。経営課題1、2、3、4に基づいて、それぞれ取り組みを進めていきます。で、「」で令和4予算額というふうに今回入れさせていただきました。で、こちらの予算額に基づいて、各種事業の取り組みが進められていくということになります。

そして、最後に3-3ですが、前回の区政会議のときに用語とか言葉が分かりにくいというご意見をいただきましたので、今回少し簡単ですが、用語集という形で付けさせていただきました。全てを網羅することは難しいので、基本、運営方針に載っている言葉の中で、よく役所で使われるような言葉を中心に載せておりますので、こちらも見えておいていただけたらと思います。また、ここが分からないよということがありましたら、言っていただけたら追記とかご説明もさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

最後ですが、この運営方針ですけれど、今年に来年度から様式の変更が検討されております。24区の中で、様式が変わるということですので、来年度のこのバージョンがこういう形になるというのがまだ決まっていません。次回の区政会議等で情報が入ってございましたら、そのフレームの説明とか何を載せていくかという部分も併せてご説明させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○沼田議長

はい、ありがとうございました。

区政会議を知っている区民の割合が30%に届いてないってことなので、みなさん、ぜひ、お知り合いの区民の方に宣伝していただいて、もうちょっとで、目標を達成するはずですので、ぜひよろしくお願いいたします。

それでは、次に議題4「その他」のご説明をお願いしたいと思います。

○松岡総合調整担当課長

はい、私から議題4についてご説明をさせていただきます。

資料4をご覧ください。右上に丸いグラフが円グラフがある資料でございます。これは区政会議に関するアンケートということで、その集計結果につきまして、ご説明をしたいと思います。

質問の1、2、3につきまして、一括してご説明をいたします。

このアンケートにつきましては、14名の委員さんからご回答を頂戴しております。ご覧のとおり1、2、3につきましては意見交換がいかにかどうしたら活発になるかということについてのご意見をいただいたものでございます。東住吉区といたしましては、頂いたご意見を踏まえまして、主に次に申し上げます、2点について改善していきたいと考えております。1つ目は皆様が議論へ参加しやすくなること。2

つ目は区政への理解を深めていただくということでございます。

まず、1つ目でございますが、より参加しやすい会議となりますように今年度はオンラインの参加の環境整備をしてまいりたいと考えております。こういった広い部屋でございますので、それに沿ったような機材を用意いたしまして、環境整備を進めてまいります。やはり新型コロナウイルス感染症、また第7波ということで、流行ってまいりましたので、なかなかお集まりいただくことも難しいことがあるかもしれません。ですので、感染予防や利便性の向上といった観点から取り組んでまいりたいと考えてございます。

また、2つ目の区政の現状について、理解を深めていただくこと、ということでございますが、なるべく簡潔に、できるだけ簡潔、かつ分かりやすい資料作成を目指してまいりたいと思います。

1、2、3につきましては、以上でございます。

次に質問の4と5でございます。裏面をご覧ください。区政会議において意見や要望、評価について、適切にフィードバックが行われていると思いますかとか、その他のご意見について頂いたものでございます。今年度につきましては7月と、2回目を9月に全体会と部会を開催いたしまして、この中でいただいた意見を令和5年度の運営方針の案と予算案に反映してまいりたいと考えております。

2月の全体会、これは予算案ができる頃ですけれども、予算案と運営方針案ができた頃、2月の全体会におきまして反映状況等につきまして、内容を説明させていただく予定をしております。

質問6は、その他としていただいた意見を紹介しておりますので、またご覧いただきたいと思います。

資料4の説明については、以上でございますが、もう一つ本日お配りしております令和3年度の東住吉区区政会議、区政会議委員評価シートのご記入でございます。ご確認をいただきたいと思うのですが、こちらについては、条例の3条に基づいて、当区の運営方針における取り組みについてご評価をいただくものでございます。改めてメールでも送付をさせていただいて、依頼させていただきますので、お手数ではございますが、ご記入の上ご返信いただきますように、ご協力をお願い申し上げます。

説明は以上でございます。

○沼田議長

はい、ありがとうございました。

それでは前半はこれでお終いですので、ここから各部会に分かれて意見交換をお願いしたいと思いません。

今、7時26分ということでして、事務局どうですか。8時再開でよろしいですか。

○松岡総合調整担当課長

8時再開をお願いいたします。

○沼田議長

では、各部会に分かれて、7時58分ぐらいに終わっていただいて、8時にはこういう形で全体会を再開したいと思っておりますので、部会長さん、そのような形で進行をお願いしたいというふうに思います。

では、会場のご案内とか、事務局、お願いします。

○松岡総合調整担当課長

恐れ入ります、子育て教育部会の委員様につきましては、5階の応接室にご用意をさせていただきますので、恐れ入りますが、移動をお願いいたします。

前半部分 19時26分 中断

後半部分 20時19分 再開

○松岡総合調整担当課長

全員おそろいです。中西さんのご用事がございまして、途中で帰られたそうでございます。

○沼田議長

皆様、各部会での議論おつかれさまでございました。それでは、これより全体会を再開したいと思います。

両部会とも、活発にご意見が出たようでして、今、大幅に時間を超過しているという状況でございますので、これからの効率的な議事進行にご協力いただきたいと思っております。

先ほど部会ごとに意見交換いただいた中で出ましたご意見について、各部会からポイントを少しかいつまんで、ご報告をお願いしたいと思います。

では、初めに、子育て教育部会から部会長の方よりご報告をお願いいたします。

○柴田部会長

報告いたします。

子育て教育部会からは、まず、不登校とかヤングケアラーとか虐待の問題について問題があるのではないかということで意見が出ました。でも、それは地域の気付きっていうものが非常に役に立っていくのではないかなという意見が出ました。それから子育ての問題、例えば育児ノイローゼとか親同士のコミュニティーがどうやってこう構築されていくのかとか。親子サロンというものがどのくらいあるのか。それから妊娠期からのケアというものがあのかというようなことについて意見が出まして、いろんな回答も頂いたのですけれども、子育ての問題というものをどういうふうに考えていくのか、あるいは就学前の支援というのがどのくらい必要になっていくのかという意見が活発に出たと思っております。それを今後どうしていくのか。今、既にあるシステムからさらにプラスして、どういうふうに改善していけるのかということについては、また次回話し合えればという結論に至っています。

以上でございます。

○沼田議長

はい。ありがとうございました。

では、安心つながり部会からもご報告をお願いしたいと思います。

○井本部会長

はい、安心つながり部会です。

安心つながり部会では、経営課題の2と3のところの部分で話をさせていただきました。

キーワードとして、つながり、見守り、共助というところの部分の話をさせていただいたのですが、ホワイトボードにも書いてはおりますが、その中でやはり人というところと、その場をつくるというところが、まあ知るといいうところですね。まず、自分の地域、自分の地域を見る、知る、どのよう

な方々がおられて、どのような場があって、どのような取り組みがされているのかをまず知ることが大事なのではないかというような話が挙がっておりました。

つながりに関しては、やはりいろんなつながりがあるとは思いますが、参加したくないというような方も増えてきているというところもあたりもするのですが、それに対する何かきっかけがあったりとかするといいいのではないかとというようなところであったりとか、それぞれの地域でいろんなホームページなり、情報は発信をしているのだけど、そこも声の差があったりとかして、なかなか分かりにくかったりする部分もあるので、統一したものをつくるというのもいいのではないかとというところ。

あと見守りに関しては、子供を見守りするのも年齢を重ねた方を見守りするのも、その対象者によって異なるというところもあるので、じゃあ何を見守りするのっていう議論がありました。実際、その見守りを行う中でも見守って、次につなげる、どこにどうしたらいいのというようなところがつながらなかつたら見守っていてもあまり意味はないのじゃないのというようなところのご意見はありました。つながりつなげるというところですけども、その共助つながれるというところではありますが、そのあたりで災害の時とかに、どこに誰に何を依頼して動いていただいたらいいのかっていうのがやっぱり明確にされていないというところがあったりもするので、そういったところをまず知るところからやっついていかないといけないのじゃないかっていうところ。そして、参加したくないというような方もおられるという話もしましたが、どうしても固定していってしまいがちなので、そういった部分ではなくて、地道に声をかけていったりする中で人材を育成していく、育てていくという視点も必要なのじゃないかというような意見が出ました。

このような議論がありました。以上です。

○沼田議長

はい。両部会長のお二方、ありがとうございました。

それでは、本日の議題全体を通じて何かご意見ご質問ある方、いらっしゃいましたら、ご自由にご発言いただけたらと思います。

はい、堺委員、お願いします。

○堺委員

連合の堺でございます。

まず、区長に聞きたいのですが、区の運営方針に、いろいろ書いてございますけれども、区長が変わるたびにみな別の方針になってくるのか、そういう点が分かりません。例えば区長が3年であったら、3年間はそれでいくけれども、次の人がまた別のものを出すのか、その都度、変えるのか、その辺をよろしくお願いします。

○今西事業企画担当課長

まず、運営方針というのが1年ごとの目標を設定して、それに達したかどうかというのを判断するものです。そのベースになっているのが将来ビジョンというのがありまして、これが概ね5年ぐらいのペースで考えています。東住吉区の場合、もう一つまちづくりビジョンというのが概ね20年というペースで考えています。

区長ごとに変えるのかどうかと言われる点ですけど、基本的に前の前任の区長も前々任の区長も踏襲している形にはなっていますが、例えば就任された区長の中で、ここにはどうしても力を入れたいという部分があれば、それは反映されていくものかと思っています。

○塩屋区長

私の場合はビジョンは、もともと考えたものと、これを目指していこうというところと全く一致していたので、たまたま東住吉区が掲げておられましたので全くそれを踏襲してやっています。

やっぱり子供たちが育って、育てていく大人たちも幸せを感じる。それぞれ何となく幸せだなと感じていく。そういうまちづくりを前の区でも、それを掲げておりました全く同じ踏襲してやっているのが基本的かと思っています。

毎年の事業計画の中で、ちょっとエッセンス、強弱置きながらやっていく感じかと思っています。

○沼田議長

他にいかがでしょう。あとおひと方ぐらい。

はい、どうぞ。

○堀江委員

すいません。堀江です。

区政会議の最初の部分の説明でザって行って、その辺を聞くだけで終わっていいものなのか。そこに対して何か、資料を配られた中の内容について質問させていただいたりするべき場なのかが、ちょっとよく分からなかったのですが。

経営課題の2の「みんなが健康で安心して暮らせるまちづくり」のところで、令和2年度と令和3年度の区民アンケートで福祉介護等の相談先に満足している区民の割合がかなり変わったのが、すごく気にはなつたのですけれど、なぜ31.4%が79.2%になったのかとか、この場で質問していいのですか。

○沼田議長

結構です。

○松岡総合調整担当課長

まず、内容に入る前に区政会議でご質問いただくことということについてお答えをいたします。

この経営課題についてのご疑問の点、ご不明な点、すべてこの場でご質問いただいて結構でございます。ですので、すべてにおいて運営方針にかかわっていく内容については是非ともこの場でご議論いただく、ご質問いただくということで、お答えをさせていただきたいと思います。

○今西事業企画担当課長

ご質問の点ですが、先ほども申し上げたように運営方針は単年度に立てていくものなので、例えば前年とか前々年度にとった目標設定した数値が思ったように数字が拾えない場合っていうのもあります。そこはトライアンドエラーになっている部分もありまして、例えば、今、ご指摘いただいた3年と4年の分は拾い方が変わっています。安心してとか、上に書いている文章が違います。満足しているとか、地域にあり安心して感じるという点でいうと、例えば満足というのは一体何をもって満足だっていう部分が不明瞭であったりするのを、例えば地域にあるということが大事なのであれば、地域にありっていうのを拾った場合、ここはぐっと伸びているという形になっています。個別のエビデンスの部分なんかは各担当の方で、答えられると思いますので、疑問点等がありましたら、聞いていただきたいなと思います。以上です。

○堀江委員

ありがとうございます。

ちょっと似たような資料、3年と4年のところがほぼ同じという感じにも受けたので、それは継続していくっていうふうに書いているのですが、全部、丸コピーみたいに見えてしまって、ここだけグラフがすごく変わったので、なぜかなと思いました。

○沼田議長

はい、ご指摘ありがとうございます。これ本当にすごいですね。

ちょっと聞き方を変えるだけでこんなに違うんだっていうのは、私の職業柄考えても、すごくびっくりしています。こんなに変わるのかっていう。だから、こういう資料を見る時に、意地悪な言い方をすると、すごく良くなったなっていうふうに見た時に、本当かというふうに思う時のポイントとして、何かちょっと聞き方変わったんじゃないですかとか、逆にすごく悪かった時にも聞き方を変えたことによって、すごく評価が下がったんじゃないかっていうことがあるということは、資料を読む時に我々が確認する中でチェックしていったらいいのかなって思います。

ご質問、ありがとうございました。

他によろしいでしょうか。

ありがとうございます。そうしたら、時間もだいぶ予定を超過していますので、次に移りたいと思います。議題としては本日は以上でございますので、本日お越しの市議員のお二方に一言ずつ、お言葉をいただけたらと思います。辻議員の方からコメントを頂けますでしょうか。

○辻議員

皆様、お疲れさまでございました。ありがとうございました。

今日は、第1回ということでしたので、課題整理をしていただいて、これからまた具体論に入られるというふうに思うのですけれども、やっぱり皆さんの言葉から出てくるのはつながりの重要性で、今も今日もコロナが大変なことになっていて、東京で1万、大阪も1万近くということで、せっかくいろいろな行事の予定が今入ってきているのですが、これからまたどうされるかということで、現場で悩んでおられるというふうに思います。

そんな中で、やはり人のつながりがこの3年間ぐらい途切れているということの中で、さらにヤングケアラーの問題であったり、児童虐待の問題であったり、不登校であったり、ひきこもりであったり、さまざまな課題を今社会が抱えているという中で、今日、集われた皆様が本当に真剣に取り組んでいこうという熱意が非常に伝わってきましたので、その辺の部分で行政もしっかりとバックアップしていただくとともに、議会としてもしっかりこれは議論させていただいて予算をつけていくことが、まず第一かなというふうに思っておりますので、今後お世話になりますけれども、お力添えをよろしく願いいたします。

本日はありがとうございました。

○沼田議長

ありがとうございました。

それでは、田辺議員、お願いいたします。

○田辺議員

皆様、本当に今夜もお疲れ様でございました。ありがとうございます。

基本的に区政会議っていうのは、我々議員なり、役所というよりも、やはり委員の皆様からご意見を頂

いて、それを区政に反映するというのが主たる目的でございますので、あまり我々からということではないです。

ただ、前回、確か予算に関して、ちょっと私のほうから補足の説明をさせていただいたと記憶しているのですが、本日も最後に堺委員とか堀江委員からおっしゃられたようにどンドンストレートにこの場で意見や質問を区役所のほうにぶつけていただいたほうがいいのかなと、その方が実際に皆様方の思いが、区政に伝わるのではないのかなというふうに私は個人的に感じております。

これからもまた何とか部会、本会議という形で皆様にご議論いただくこととなりますけれども、引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。今夜もどうもありがとうございました。

○沼田議長

お二方、ありがとうございました。

それでは閉会に当たりまして、塩屋区長より一言頂ければと思います。お願いいたします。

○塩屋区長

今日も遅い時間まで本当にご議論ありがとうございました。

今もご意見を頂戴しましたが、やはりこの区政会議というものを、どのような形で進めていったらいいのか、それから部会というものをどう進めていったらいいのかといったことなどを含めてご意見を頂戴することによって、意義ある会議になってくるのではないかと思いますので、そういったご意見もぜひ拝聴して、我々としても考えていきたいと思っております。

また、今日、それぞれの部会でのまとめのご報告を聞いておまして、改めて、さまざまな施策がありますけれども、やはりつながりでありますとか、地域の力とかいった点は不易といいますか。やはりこの10年間、大阪市はさまざまな区政の改革、あるいは市政改革とかをやってきておりますけど、やはり多様なさまざまなお力を地域活性化のためにつなげていくことが重要だという考え方がありますとか、地域に密着した仕組みをご意見を聞きながらしっかりと定着させていくといったことが極めて重要であるといったことを改めてその重要性とともに認識した次第でございます。こうした議論をふまえて、今後ともさまざまな政策・施策、あるいは日々の運営にも結びつけていくようにしたいと改めて感じた次第です。

本当にありがとうございました。また、引き続きどうぞよろしくお願い申し上げます。

○沼田議長

どうもありがとうございました。

それでは、これを持ちまして、令和4年度第1回東住吉区区政会議本会議を終了いたします。

皆様、どうもありがとうございました。